

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2017/2 前期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

1年間で最後の定期考査が終わりました。これからは模擬試験も定期考査もない、いわゆる「無風」の状態が4月まで続きます。「無風」だからこそ、自分なりに考えて家庭学習を充実させてほしいものです。

- ・自分の「弱点」を徹底的に見直す
- ・好きな教科を徹底的に勉強しまくる

ほんの一例ですが、何を勉強するかはそれぞれ生徒一人一人に委ねられています。4月の新2年生は課題テスト、スタディーサポートがあります。新3年生は全員受験としては最後の模試、ベネッセ記述模試があります。スタサポも記述模試も平日＝通常の授業時間に組み込まれています。2つとも平日に全員で受験することに意味があるのです。湖陵生全員が学力向上のために受ける！ということをしかりと心に刻んでください。なお、スタサポは過去の湖陵生徒の比較がデータとして出てきますし、ベネッセ記述は既に行われたセンター早期マークとドッキング判定が出ます。「無風」といいながら実は目先には模擬試験や課題テストが控えている。1年間で一番緩やかに流れる貴重な時間を是非有効利用、有効活用してください。

◆特集 「探究活動」発表会！

一昨年度の平成26年度、現高校3年生が1年生の時、理数科のSSH課題研究発表会を普通科の生徒が初めて目の当たりにしました。理数科1年生が第1体育館で英語での発表、2年生が第2体育館でポスター発表を行いました。普通科の生徒は理数科の生徒の生き生きとした姿、一生懸命考察した成果を発表する姿に誰もが感動しました。それは先生方も同じでした。私たちだってできるのでは？、私たちだってやってみたい！。こうした盛り上がりは昨年度からの「探究活動」につながりました。1体では理数科の発表会、2体では2年生普通科の発表会です。1年生普通科は同じ1年生の理数科や2年生の先輩方の発表を見て来年への気運を盛り上げていきましょう。

さて、今回はその探究発表会に対して探究活動を担当している相坂先生、授業研究ワーキンググループを担当している笹木先生から発表会について述べてもらいました。改めて、その意義や目的を理解し、その上で自分自身の「力」を向上させてください。

課題研究発表会せまる！

～やらされる勉強なんておもしろくない！ 自分からやるからおもしろいんだ！楽しいんだ！～

1 探究活動で何が伸びるか

探究活動の発表会を今週末に控え、準備に忙しくしている毎日でしょう。まとめの作業を行っていく上で、大切にしてもらいたいことをお話します。探究活動は、「普段の勉強と違っておもしろい！」「深めていくのが楽しい！」、いい反応がたくさんあります。

しかし、「どうやっていいかわからない。」「何を発表すればいいのかわからない。」「めんどうくさい。」

こんな声も聞こえています。少し残念なことです。

湖陵高校では、みなさんが社会に飛び出していくにあたり身につけてほしい力を伸ばすために、様々な学習活動を展開しています。そのひとつがこの探究活動。探究活動を通して身につけてほしい力、覚えていますか？いまいちど、探究活動のオリエンテーションを思い出してみましょう。

「主体的に学習する力」

…たとえば 自分の意志によって物事に取組もうと思える「知りたい」という気持ちから行動を起こすことができる
目的を設定し確実に行動することができる

「論理的に物事を考える力」

…たとえば 根拠や理由から答えを導き出すことができる

「文献などを調べて、実験方法などで検証する力」

…たとえば 現状を正しく認識するために情報収集や分析を行うことができる

「まとめて文章や言葉で表現する力」

…たとえば 自分の考えをわかりやすく伝えることができる
事実と意見を区別して伝えることができる

「コミュニケーション能力」

…たとえば 相手の意見を丁寧に聞くことができる
意見の違いや立場の違いを理解することができる

(探究活動オリエンテーションより) 参考：京都市立堀川高等学校 資料

みなさんはこれらの力を伸ばすことができているのでしょうか。今日の段階で、「探究活動が自分を成長させてくれたこと」を探してみましょう。

初めて会った人と自分から話しかけてみる力がついた
チームで課題解決に取り組むと楽しいということがわかった
辛くても逃げ出さずに向き合っていると新たな気づきに出会えた
調べていくうちに、学ぶこと、知ること、深めることが楽しいと思えてきた
まとめる作業の中で、人に伝えるときにどうすればわかりやすくなるかを考えられるようになってきた
ポスターを書きながら、見やすさを工夫する力がついた などなど。

さて、去年の先輩方はどんな力をつけられたのでしょうか。探究活動の前後でとったアンケートをもとに、レベルアップした部分をまとめました。

①Plan **計画力**アップ
学習する内容の順序を決めてから進める人が増えました。つまり計画をたてて学習に臨むことができるようになってきたということになります。物事の優先順位を決める力にもつながっています。

②Do **課題解決力**アップ
授業でわからないことがあったとき、そのままにせず友だちや先生に聞きに行く行動力を身につけられたという人が増えました。友だちが学習につまづいていたときに、わかりやすく伝える教える力もついたという人が増えました！

③Check **メタ認知力**アップ
行動してみた結果どうだったのかを検証したり、つまづいた時はなぜわからないのか、どこがわからないのか、がわかるようになったという人が増えました。

まさに、社会に出てから必要とされる「PDCA」にそのままあてはまっていますね！

2 伸びる人と伸びない人の差

同じことをやっても、伸びる人と伸びない人がいるのも事実です。その差ってなんででしょう。

私は、目の前のことに興味をもつことができるか、ワクワクできるかだと思います。興味を作り出すのは素晴らしい力です。

選んだテーマが第一希望じゃなかった。興味がわからない。そんな声もありますね。たとえば自分が働いたとき、希望していない部署やグループに配属させられることだって、配属先の間人間関係があまり良くないことだってあります。任された仕事がおもしろくない仕事であることだってあります。そうだとしたら、「おもしろくない」、「つまらない」、と顔や態度で表現し、やるべきことに向きあわず、この環境がダメなんだと、文句ばかりをいうのは、はたしてどうなのでしょう。

同じ「やる」なら、楽しんでやってみませんか？

同じ「やる」なら、ワクワクしながらやってみませんか？

苦手、嫌い、おもしろくない、興味ない。マイナスイメージを持っていたあなただからこそ、他の人には見えない角度でそのテーマに迫れるかもしれません。他の人は気付かない観点での捉え方ができるかもしれません。

苦しい道も、懸命に歩いているうちに何かの気づきを与えてくれることもあります。今自分が歩いている道。少し立ち止まって色々な観点で周囲を見渡してみましょう。どんな景色が見えますか？どんなにおいがしますか？どんな音がしますか？どんな道ですか？

3 あとはやるだけ！

自分は成長したいのか、成長したくないのか。取り組み方によっては、自分を大きく成長させることができる探究活動です。

探究活動を終えた時の自分の姿を想像してみましょう。きっと今よりもすごい自分になっているに違いありません！あなたの知的好奇心を目覚めさせましょう！新しい自分にワクワクしましょう！残りの時間が有意義なものになることを心から願っています！人生変えちゃう「探究」かもね！

◆特集 スマホは1つのツール！

「勉強の敵」スマホを味方に付ける方法 ～スマホを上手に学習に使うには～

スマホはまさしく「勉強の敵」と言えるでしょう。勉強する時にスマホが近くにあるととにかくひっきりなしのライン。これでは気が散って勉強どころではなりませんね。勉強する時にスマホを違う部屋に放置するか、電源を切る、が一番いい方法かもしれません。

さて、では逆に発想を転換してスマホを利用するすべがあるのでしょうか。私自身、スマホを持っています。山岳部顧問としていざというときにスマホの機能の一つであるGPSに必要性があるからです。山の上では通話やラインはできませんが、GPSは人工衛星経由なので機能できるからです。

では、高校での勉強ではどうでしょうか。今回は関東の進学塾の先生が話していた内容を基に考えてみましょう。スマホをツールとして上手く利用する、それを念頭において読んでください。但し、学校内でスマホの使用は厳禁であることをお忘れなく！！！！

1、学習で最も重要なスケジュール管理、TO DO 管理

スマホのスケジュール機能を使って、次の3つのことをやります。

手順①やることを入力する
ルーチンワーク（予習、自分が設定した学習など）を、繰り返し機能を使って入力し、TO DO（やらなければならないこと：宿題や提出物期限など）を入力しておきます。（例：毎月曜日 20時～21時 数学演習）

手順②色分けする

内容によって色分けする（例：予習は青、宿題は黄色など）ただし、赤だけは使いません。

手順③タイマーを使う

タイマーを使って時間管理を行う。勉強、休みはタイマーをセットして行う。これがないと、ついずるずると怠けたくなる。

手順④終わったことは赤色にする

終わったことは、赤色に色を変えます。そうすると、終わったことは赤、それ以外の色はまだやっていないという事になり、一目瞭然でわかりやすくなります。アナログ・紙の子ども手帳の場合は、終わったことを横線などで消すのですが、それと同じように赤色に変えることで、終了したことを判別できるようにします。不思議かもしれませんが、これだけの作業で、勉強がはかどるようになります。しかも、自分が勉強してきた軌跡が、赤色で一目瞭然、「見える化」します。

2、自分専用テストを作る

学習において重要なことは「理解すること」です。しかし、テストや受験対策となると暗記をして答えるためのインプット作業もどうしても必要になります。

机で勉強するときは、紙にペンで書けばいいのですが、そうではない場所では、音声録音や写真を使って、インプット作業をするといいでしょう。歩いているときや、電車に乗っているときといった、すきま時間を使ってやるのです。

【写真機能を使う】

・重要な参考書や教科書部分、ノートの写真を撮り、すきま時間（電車内など）で繰り返しテストする。→アプリを使えば、穴埋めにしていった部分にモザイクをかけて自作テストができるが、作り込み作業が面倒なので、穴埋めにしてしたノートやプリントの写真をとってしまう。これは勉強机のない場所にいるときに活用できる方法です。

【音声録音】

すきま時間には、耳からのインプット
・音声録音機能を使って、英語の教科書を読みあげて録音し、それをすきま時間に聞く。入力段階での音読の効果、さらに繰り返し自分の声で聴く英文でインプットしやすくなる。
・一問一答のような問題は、自分の声で音声入力してテストにしてしまう。これらは、イヤホンさえあれば、できる勉強法なので効果的。電車などの移動時間でもできます。

その他、辞書機能を使ったり、レポート作成の題材をネットで検索、英語力を高めるために、無料記事として無数にある英語の記事を読むことや、無料サイトの英語音声を使ってリスニング能力を高めるということもよくあります。

まだまだ、工夫によってはさまざまな使い方があっていいでしょう。しかし、あまり複雑な使い方をすると長続きしませんので、単純で無料の機能を使う程度でいいのではないのでしょうか。繰り返し言いますが、道具は上手に使う、ということをお忘れずに。